

## 室内暴露評価にかかわる生活・行動パターン情報

- 平成19年度より生活・行動パターン情報を得るためのアンケート調査および解析を実施している。
- 住居情報(部屋の大きさ等)やそこで使用する消費者製品情報、行動情報(滞在時間や、製品の使用頻度や使用数、窓明け行動の有無等)などが生活・行動パターン情報であり、室内での暴露量を適切に把握し評価するための重要な項目である。

## 調査方法・内容

- 調査はインターネットによるアンケート調査とし、質問および選択肢の精査等を行い調査を実施した。

### <プレ調査 (平成19年度調査)>

調査1: 住居および家電に関する調査 (回答者数: 全国1,080人)

住居における滞在時間や家電の数、使用時間等について傾向を把握。

調査2: 家事行動に関する調査 (回答者数: 全国1,080人)

住居における台所や部屋掃除などの頻度や消費者製品の使用の有無について傾向を把握。

### <本調査 (平成20年度調査)>

調査: 生活行動に関する調査 (回答者数: 全国1,715人)

住居基本情報(築年数、居住年数等)、寝室および居室(寝室以外に長く滞在する部屋)における面積、滞在時間や設置家具の個数、芳香剤製品等の使用の有無、窓明け時間等の換気行動について調査。

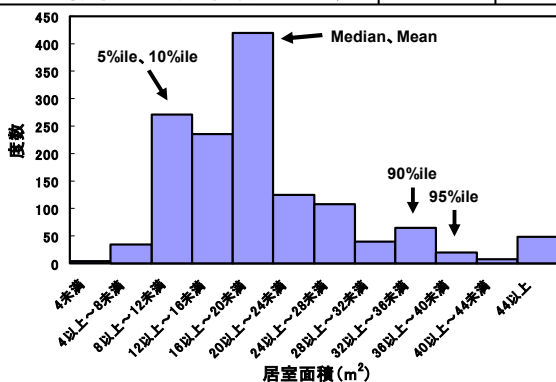
### <補足調査とデータ解析 (平成21年度調査)>

解析: 平成19、20年度調査の結果を解析し、人の行動の相関性等を把握する。これらの解析結果を統合し、室内暴露量推定のための生活・行動パターン情報のデータベースを構築。

## 調査結果

- 調査結果例 (注意: 以下に示す値は暫定値であり、今後変更する可能性があります。)

	n	95%ile	90%ile	Median	10%ile	5%ile	Mean	S.D.
居室面積(m <sup>2</sup> )	1,379	39.6	32.4	16.2	9.7	9.7	19.6	13.8
居室平均滞在時間(hr)	1,332	15.3	14.1	5.9	2.3	1.6	6.9	4.3
居室内に設置した芳香剤の個数	110	2	2	1	1	1	1.2	0.6



調査結果は、平均値等の単一の値ではなく、評価レベル・評価目的等によって種々の値を選ぶことが出来るよう、分布(範囲)を持った形で提示。

行政・業界

日本全体の暴露量はどのくらい?

消費者

自分のようなタイプの住居だと  
暴露量はどのくらい? 改善するには?

目的・ニーズに適した値が選択できる

- 調査結果は、独立行政法人産業技術総合研究所(AIST)が調査・開発している室内暴露推定ツールへの組み込まれる他、生活・行動パターン情報データベースとして、順次以下のWebサイトより公開予定です。

[http://www.safe.nite.go.jp/risk/expofactor\\_index.html](http://www.safe.nite.go.jp/risk/expofactor_index.html)

## 調査結果の利用例: GHS表示のためのリスク評価への適用

新製品「芳香剤NITEの香り」中の物質C(放散速度12mg/unit/h)についてのリスク評価を実施するため、滞在時間15.3hr (95%ile)の居室(面積9.7m<sup>2</sup>(5%ile))内で、芳香剤を1個(Median)使用すると仮定した場合(安全側での評価)

「芳香剤NITEの香り」中の物質Cの暴露量: 0.75 mg/kg/day

物質Cの反復暴露の有害性評価値: 7.50 mg/kg/day (発がん性なし、生殖毒性なし)

よって、慢性毒性に関するラベル表示の必要はない。